

## 保守パッケージ

### 動力計 型式9257B および 9129AA

注文型式 9963F13-1,  
9963F13-2,  
9961F13-L31

このパッケージは特に3軸動力計に特化され、中国、日本、ドイツのキスラー技術センターで提供しているサービスです。

- ・稼動寿命の延長
- ・完全に信頼の置ける測定結果
- ・作動能力を保証
- ・短い納期(7日以下<sup>1)</sup>)

動力計は多くの場合、工作機械などでの過酷な環境で使用されます。当然オイルやチップの影響でシールリングは劣化し、過負荷状態が発生し、ケーブルは機械軸の動きで衝撃を受けています。動力計保守サービスパッケージは動力計とケーブルの状態を調べ、測定装置の健全性と測定データの信頼性を保証します。

#### 注文型式 9963F13-1

##### ・密閉性

液体の侵入によって動力計内の感知素子が不良を起こすのを防止するため、Oリングの密閉性を保証する必要があります。動力計は製造からお客様に納入される前にヘリウムガスによる漏れのテストが行われます。



図1: シールリング、保護キャップ、漏れテスト装置

保守のパッケージでは、シールの外側の状態が検査され、漏れテストを繰り返して、過酷な環境で使用された後の密閉性を保証します。また、交換用にコネクタ部のOリング3個、およびケーブル非接続時の液体の侵入を防ぐための金属性キャップが付属されます。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 試験室の納期(輸送期間を除く)

<sup>2</sup> 漏れのテストは型式9129AA全製品に実施可能です。型式9257Bは2015年4月以降製造のタイプのみが可能です。詳細は日本キスラーまでご連絡ください。

#### 注文型式 9961F13-L31

##### ・校正サービス

再校正の手順は、キスラー技術センターが迅速で動力計に特化したサービスを提供できるように作成されています。このサービスの内容は、通常製造ライン最後に実施される校正とは異なるにも関わらず、再校正の品質は担保されています。



図2: 特別校正治具に取り付けた型式9129AAの旋盤加工用オプションでの加工点における校正

定期的な再校正は高精度で信頼のおける一貫した測定結果を保証し、国家測定標準にトレース可能です。キスラーは一般的には2~3年毎の再校正を推奨します。しかしながら特定の再校正の間隔は、お客様自身がアプリケーションに適切な間隔を設定してください。



校正を行う前に、絶縁抵抗テスト注文型式 9963F13-2 が必須なため、校正と一緒に注文してください。

#### 注文型式 9963F13-2

##### ・絶縁テスト

ケーブルおよび動力計の絶縁テストは、力測定中のドリフトを最小限にするために重要です。各デバイスの絶縁値は $10^{13} \Omega$ 以上が必要です。

**技術データ**

以下のデータはキスラー技術センターで実施される保守パッケージの代表的な値です。

表1: 漏れ試験データ

密閉性検査媒体	ヘリウム	
動力計内の相対圧	bar	1
ヘリウム検知閾値	ppm	<1.0E03

表2: 校正データ

最小校正範囲	N	50
最大校正範囲	N	10000
温度	°C	室温
CMC (室温) <sup>3</sup>	%	<0.5
荷重方法	連続	

表3: 絶縁テスト

ケーブル絶縁閾値	Ω	>10 <sup>13</sup>
動力計絶縁閾値	Ω	>10 <sup>13</sup>

<sup>3</sup> 校正システムの校正および測定能力 (Calibration and Measurement Capability)

**結果レポート**

結果は保守レポートに記載されます。図3にレポートの例を表示しています。

**校正証明書および保守レポートの例**

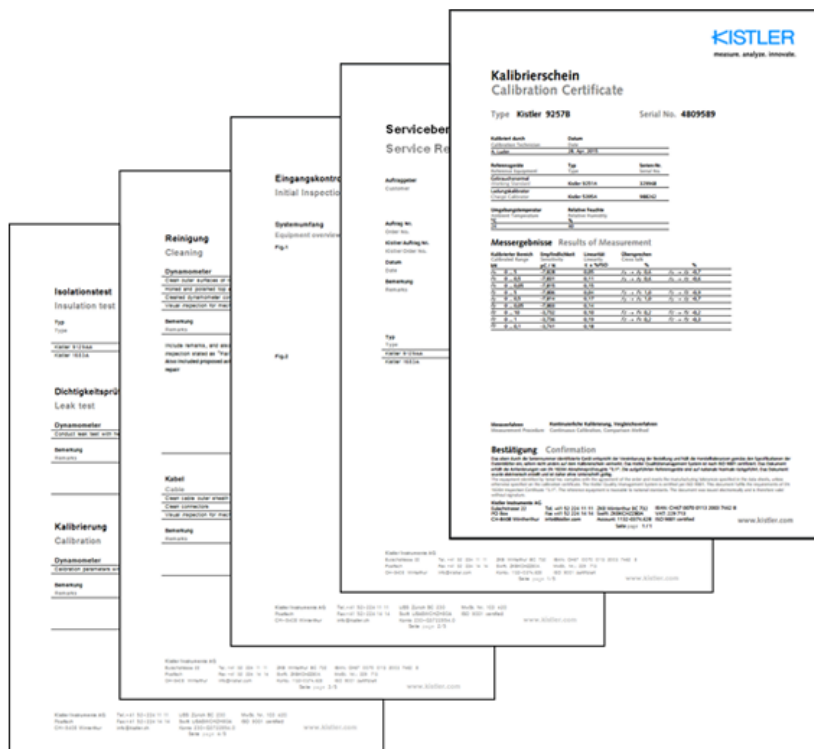


図3: 校正証明書および保守レポートの例

※本資料全部または一部を、無断で複写・複製することは法律で禁止されています。  
 ※ここに記載されている情報は知識の現状に基づいています。キスラーは技術的変更を行う権利を有します。  
 製品の使用によって生じる結果的な損傷に対する法的責任は除外されます。

9963F13\_003-301j-07.17